

「鶴岡市立荘内病院中期経営計画（新改革プラン）」  
令和2年度事業実績の自己点検・評価報告書

令和3年10月  
鶴岡市立荘内病院

## 1 鶴岡市立荘内病院中期経営計画の自己点検及び評価について

「鶴岡市立荘内病院中期経営計画」の実施状況については、毎年度、点検・評価を行うこととしていることから、令和2年度の決算に基づく数値目標の達成状況及び事業実績に関して、院内の担当部署が自己点検・評価を行いましたので、その結果を報告します。

なお、評価については、以下の基準により行っています。

評価	評 価 基 準	
	数値目標がない場合	数値目標がある場合
A	計画・目標を十分達成し成果が得られた	100%以上の達成率となった場合
B	計画・目標は概ね達成された	80%以上～100%未満の達成率となった場合
C	計画・目標はある程度達成された	50%以上～80%未満の達成率となった場合
D	計画・目標は一部達成された	20%以上～50%未満の達成率となった場合
E	計画・目標はほとんど未達成である	20%未満の達成率となった場合

注) 達成率=実績/計画×100

## 2 経営指標に係る数値目標の達成状況及び評価

○令和2年度の決算状況は次のようになっています。

- ・ 収益的収入支出

(単位：百万円)

区 分	R1年度 決 算	R2年度 決 算	増 減	
			金 額	率(%)
病院事業収益	12,332	12,766	434	3.5
医業収益	10,589	10,032	△557	△5.3
入院収益	7,592	7,099	△493	△6.5
外来収益	2,474	2,450	△24	△1.0
その他医業収益	523	483	△40	△7.6
うち他会計負担金	208	209	1	0.5
医業外収益	1,653	2,426	773	46.8
うち他会計負担金	732	735	3	0.4
うち長期前受戻入	812	700	△112	△13.8
看護学校収益	90	99	9	10.0
うち他会計負担金	74	85	11	14.9
特別利益	0	209	209	皆増
病院事業費用	12,581	12,333	△248	△2.0
医業費用	11,907	11,415	△492	△4.1
職員給与費	6,611	6,665	54	0.8
うち退職給付引当金	246	246	0	0.0
うち基本給等※	6,199	6,253	54	0.9
材料費	2,125	2,072	△53	△2.5
経費	1,690	1,694	4	0.2
減価償却費	1,245	793	△452	△36.3
資産減耗費	29	9	△20	△69.0
うち固定資産除却費	27	7	△20	△74.1
研究研修費	207	182	△25	△12.1
医業外費用	584	610	26	4.5
看護学校費用	90	99	9	10.0
特別損失	0	209	209	皆増
経常損益	△249	433	682	△273.9
純損益	△249	433	682	△273.9

※ 「職員給与費」から退職手当組合負担金、児童手当等を除いたもの

・ 資本の収入支出

(単位：百万円)

区 分	R1年度 決 算	R2年度 決 算	増 減	
			金 額	率(%)
資本の収入	1,478	1,343	△135	△9.1
企業債	662	354	△308	△46.5
補助金	2	74	72	3,600.0
他会計負担金	812	913	101	12.4
基金繰入金	2	2	0	0.0
資本の支出	1,951	1,766	△185	△9.5
建設改良費	666	579	△87	△13.1
施設整備費	75	150	75	100.0
機器整備費	590	428	△162	△27.5
リース資産購入費	1	1	0	0.0
企業債償還金	1,271	1,173	△98	△7.7
長期貸与金	14	14	0	0.0
基金積立金	0	0	0	0.0
資本の収支差引	△473	△423	50	△10.6

・ 実質の収支等

(単位：百万円)

区 分	R1年度 決 算	R2年度 決 算	増 減	
			金 額	率(%)
実質の収支	38	367	329	865.8
累積欠損金	12,396	11,963	△433	△3.5
企業債残高	13,411	12,592	△819	△6.1
一般会計繰入金計	1,826	1,942	116	6.4

① 財務に係る数値目標及び評価

(単位：％・円)

項目	H29年度 実績	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 計画	R2年度 実績	達成率	評価
経常収支比率(退職給付引当金除く)	99.2	101.6	100.0	100.1	105.7	105.6	A
医業収支比率(退職給付引当金除く)	90.9	91.3	90.8	90.0	89.8	99.8	B
入院診療単価	48,307	49,406	52,801	52,380	54,554	104.2	A
外来診療単価	14,732	14,671	14,809	15,280	15,148	99.1	B
総収益対総費用比率 (退職給付引当金除く、特別損益含む)	99.2	101.6	100.0	100.1	105.6	105.5	A
企業債償還額対減価償却費比率	101.8	109.7	102.1	158.9	147.9	106.9	A

- 経常収支比率(退職給付引当金を除く)：(医業収益＋医業外収益＋看護学校収益)／(医業費用＋医業外費用＋看護学校費用－退職給付引当金)×100

経常費用に対する経常収益の割合で、経常収支が黒字の場合は100%以上に、赤字の場合は100%未満になる。数値が高いほど収支状況が良好であることを示す。

- 医業収支比率(退職給付引当金を除く)：(医業収益)／(医業費用－退職給付引当金)×100

医業費用に対する医業収益の割合で、医業収支が黒字の場合は100%以上に、赤字の場合は100%未満になる。数値が高いほど収支状況が良好であることを示す。

- 入院診療単価：入院収益／入院患者数

- 外来診療単価：外来収益／外来患者数

- 総収益対総費用比率(退職給付引当金を除く)：(総収益)／(総費用(特別損失含む)－退職給付引当金)×100

- 企業債償還額対減価償却費比率：企業債償還元金／当年度減価償却費×100

減価償却に対する企業債償還元金の割合を示す。投下資本の回収と再投下とのバランスを見る。小さいほど良好。

※達成率：実績／計画×100

※企業債償還額対減価償却費比率については、計画値を超えない方がよい。

達成率＝(1－(実績－計画)／計画)×100

② 医療機能に係る数値目標及び評価

(単位：人・%)

項目	H29年度 実績	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 計画	R2年度 実績	達成率	評価
一日平均入院患者数	435	426	393	401	357	89.0	B
一日平均外来患者数	694	690	693	701	666	95.0	B
年間延べ入院患者数	158,848	155,397	143,775	146,365	130,126	88.9	B
年間延べ外来患者数	169,280	168,262	167,060	170,343	161,719	94.9	B
救急患者数	16,441	16,512	16,061	17,500	13,857	120.8	A
手術件数	2,873	2,817	3,433	2,800	3,325	118.8	A

※ 達成率：実績／計画×100

※ 救急患者数については、計画値を超えない方が良い。達成率＝(1－(実績－計画)／計画)×100

### 3 数値目標達成に向けての具体的取り組みの評価

荘内病院中期経営計画各事業の令和2年度実施状況に係る自己評価総括表

実 施 項 目	No.	R2年度 評価	評価 調書の 頁
(ア) 医療機能の充実			
①救急医療体制の整備			
1 救急医療機能分担の推進	1	A	P8
2 災害拠点病院機能の整備・充実	2	A	P9
②高度医療の推進			
1 集中治療センター機能の充実	3	A	P10
2 がん診療の機能整備	4	A	P11
③地域医療連携の推進			
1 地域医療支援病院機能の充実	5	A	P12
2 地域連携パスの円滑な運用と利用拡大	6	A	P14
3 緩和ケアサポートセンター機能の充実	7	A	P15
4 地域包括ケアシステム構築の推進	8	A	P16
④その他の診療体制			
1 人間ドック体制の検討	9	A	P17
⑤設備投資			
1 施設整備計画	10	A	P18
2 医療機器整備計画	11	A	P19
3 統合医療情報システム整備計画	12	A	P20
(イ) 質の高い職員の確保・育成			
①専門性向上のための人材の確保			
1 医師の確保	13	B	P21
2 医師の処遇と労働環境の改善	14	B	P22
②臨床研修の充実・強化			
1 臨床研修医の確保	15	C	P23
2 臨床研修運営体制の強化	16	A	P24
③専門性及び医療技術の向上			
1 職員資質の向上	17	A	P25
④働きやすい環境の整備			
1 健康な職場環境の充実	18	B	P26
2 院内保育の充実	19	B	P27

実 施 項 目	No.	R2年度 評価	評価 調書の 頁
(ウ) 安全・安心な医療の提供			
①患者本位の医療の提供			
1 インフォームド・コンセントの徹底	20	A	P28
2 個人情報保護の徹底	21	B	P29
②医療安全対策の充実			
1 医療安全の充実	22	B	P30
2 院内感染対策の徹底	23	B	P32
③医療の質の向上			
1 DPC分析による最適なクリニカルパスの作成と活用の推進	24	B	P33
④患者サービスの向上			
1 外来の待ち時間短縮	25	B	P34
2 病院ボランティア活動の支援・推進	26	A	P35
3 接遇の向上	27	A	P36
(エ) 安定した経営基盤の確立			
①収入の確保			
1 新たな施設基準、加算、機能評価係数の取得	28	B	P37
2 診療報酬請求の適正化	29	A	P38
②未収金の早期回収と発生防止			
1 未収金の発生防止と早期回収の徹底	30	B	P39
③病床機能の見直し再編			
1 病床機能の見直し再編	31	B	P40
④職員給与費の適正化			
1 職員給与費の適正化	32	A	P41
2 人材の有効活用及び業務の効率化	33	B	P42
⑤経費の削減			
1 医薬品費の削減	34	A	P43
2 診療材料費の削減	35	A	P44
3 光熱水費の削減	36	A	P45
⑥全員参加の病院経営			
1 経営情報と経営改善意識の共有	37	A	P46

令和2年度	評価結果
全37項目中	A評価 23項目 (62.2%)
	B評価 13項目 (35.1%)
	C評価 1項目 (2.7%)
	D評価 0項目 (0.0%)
	E評価 0項目 (0.0%)